



1クラス9名(平均)の少人数教育できめ細かく指導。

1年次から実施しているクラス担任制は、専修によってクラス分けされ、主に取得をめざす免許・資格によって分かれることとなります。1クラスあたりの平均人数は9名と少人数ですので、教員が学生一人ひとりきめ細かく指導できるだけでなく、クラスの仲間と同じ夢を持った学生ばかりですので、刺激し励ましあいながら学びを深められることが特長です。また、1年生から4年生まで、クラス・ゼミ担当教員が個別に面談しながら、免許・資格の取得や、採用試験に向けた取り組みなど、「学修の記録」を基に指導・サポートしていきます。

ゆるやかに効く「学修の記録」をびわこ学院大学の伝統に。

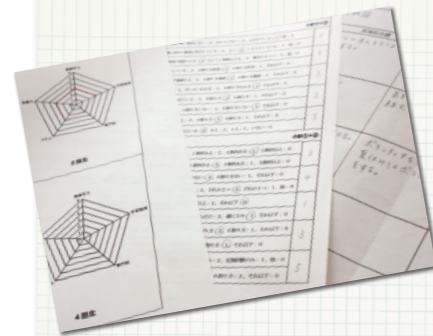


教員免許取得の必修科目「教職実践演習」(4年生科目)は、教員に求められる4つの資質・能力が身についたことを確認するため、学びの体験をふり振り返り記録する授業です。しかし、4年生から取り組んだのでは十分な成果が得られません。そこで、本学はこの科目を拡大して1年生から取り組もうという考えのもと、教員たちで作り上げたのが「学修の記録」です。

- PLAN** 教員が学生一人ひとりにいかに手厚く指導していくか?
- DO** 「自己評価が甘い自己中心型」や「自信がない集団埋没型」が多い学生に「学修の記録」を活用させる。
- CHECK** 「学修の記録」を基に面談を通して学生を指導していく。
- ACTION** 子どもの心をきめ細かく思いやれる教師を養成する。

現代の“先生”という仕事は、専門職であり、かつ総合職でもあります。困難な状況に陥っても、心が折れずそこから何かを学べる「賢くて、しなやかな先生」になってほしいと思います。「学修の記録」は毎年教員たちで見直し、より良い形に進化を続けていきます。これが本学にしっかり根付き、伝統になることを期待しています。

仁木幸男先生 YUKIO NIKI



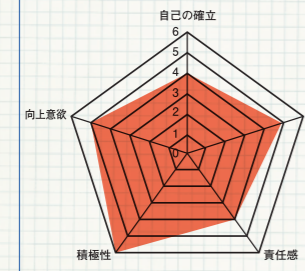
学修の記録 資質・能力に関する自己分析結果

「学修の記録」から、自分を見つめ未来を考えよう。

「学修の記録」は、学生が4年間を通して目標、体験、自己評価などを記録し、次のステップに活かすツール。自分について深く広く考える1冊の記録帳といえるでしょう。例えば、目標や時間割や成績、ボランティア、企業研修、実習、資格取得、クラブ活動、アルバイトなどさまざまな体験を記入し、「先生」に求められる資質や能力を定期的に自己評価します。このくり返しから、学生は自らを見つめ直し、成長した点や改善点を自覚できます。また「学修の記録」を先生と共有することで、次は何をするべきか具体的なアドバイスが受けられます。「学修の記録」を十分に活用することで、「専門的指導力」「豊かな人間性」「確かな教養」を習得し、「先生になる夢」の実現へと導きます。

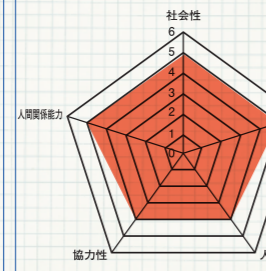
改善点を知ろうNo.1

使命感や責任感、愛情に関すること
● 自己の確立 ● 使命感 ● 責任感
● 積極性 ● 向上意欲



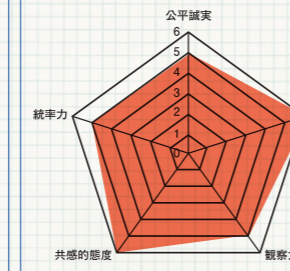
改善点を知ろうNo.2

社会性や対人関係能力に関すること
● 社会性 ● 教養 ● 人間性
● 協力性 ● 人間関係能力



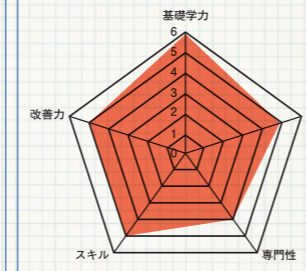
改善点を知ろうNo.3

幼児児童生徒理解に関すること
● 公平誠実 ● 受容力 ● 観察力
● 共感的態度 ● 統率力



改善点を知ろうNo.4

専門的指導力に関すること
● 基礎学力 ● 学習態度 ● 専門性
● スキル ● 改善力



(チェック項目の例) 上記「改善点を知ろうNo.1」の積極性の評価では、下記の質問項目に回答することで、グラフに評価が反映されます。

(4) 積極性	① 進んで役割分担を引き受けるか ⇒ 何時もそうする (3) 9割り方: 2、6割り方: 1、それ以下: 0	6
	② ボランティア活動への参加 ⇒ 毎週1回以上 (3) 毎月2回以上: 2、毎月1回: 1、それ以下: 0	

1年生

少人数のクラスで先生との距離が近いのが魅力です。

高校で進路を考える際、教職課程のある大学をいろいろ調べました。びわこ学院大学に入学した決め手は少人数教育。先生をめざすのだから、先生との距離がより近い環境で学びたいと考えたのです。大学の授業は自分から学ばなければいけないと実感。ひとり暮らしを始めたこともあり、勉強も生活も「自己責任」を意識してしっかり取り組みたいですね。



上村久実さん KUMI KAMIMURA

2年生

「学修の記録」と向き合い、3つの免許・資格の取得をめざします。

入学当初は「学修の記録」って必要な?と感じ、書き込むのが面倒でしたが、今は、自分の成長や就職活動にとって大切なものだとかってきました。これをもとに先生のアドバイスを受けながら、保育士、幼稚園教諭、養護教諭の3つの資格・免許取得をめざし、がんばっていきます。自分のめざすものに対して足りないものは何か、意識して意欲的に学べるようになりました。



奥村侑那さん YUNA OKUMURA

3年生

いろんな体験を通して、自分の引き出しを豊かにしたい!

小学校の先生になりたいと、1年生から教育ボランティアに参加してきました。人前で話すことが苦手でしたが、小学校で勉強の指導や運動会を手伝うなど子どもたちのふれあいを重ねることで、自信が生まれ積極性が身につきました。「学修の記録」では、さまざまな資質や能力を自己分析して五角形のグラフ(レーダーチャート)に表します。1年生から2年生になり形が大きくなりましたが、「バランス良く大ききましょう」と先生の指導をいただき、伸び悩んでいる部分を大きくしていきたいです。今後の学習計画を立てるうえで、また先生と深く話ができるのも、「学修の記録」があるからです。



恩谷鈴音さん SUZUNA ONTANI

4年生

「学修の記録」は必需品。就職活動にも役立ちます。

「学修の記録」を始めた頃は、積極的に取り組んでいませんでしたが、今、厚みを増した記録をみると、成長の足跡がわかりやすいですね。「学修の記録」があったから、面談で具体的なアドバイスをいただけたし、次の目標を定めることができました。自己評価と先生の評価が違う点もわかり、自信がつけたり、逆にもっとがんばらねばと思うこともありました。教育ボランティアや実習をみつめ直す機会にもなり、一歩ずつステップアップできたと実感しています。



角野真穂さん MAHO SUMINO

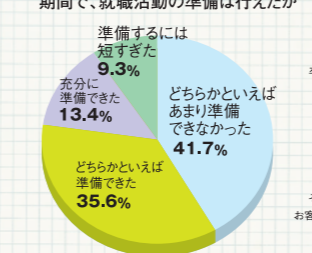
就職にも有利になる自己分析能力

2012年卒 マイナビ学生就職モニター調査より引用

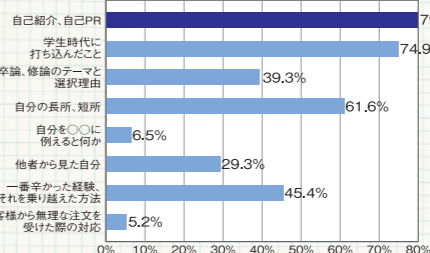
●就職活動の準備期間が短くなった場合に優先する項目

- 1位 自己分析
- 2位 エントリーシート対策
- 3位 企業研究
- 4位 面接対策
- 5位 筆記試験やSPI対策

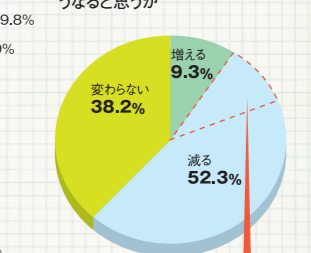
●エントリーや企業研究などを開始してから具体的な選考を受けるまでの期間で、就職活動の準備は行えたか



●面接時において個人の能力・パーソナリティについての質問



●就職活動の準備期間が短くなった場合、企業へのエントリー社数はどうなると思うか



「学修の記録」があれば!

1年生より“自分”を知ることができ“自己分析能力”が向上!

就職活動中もあせらず、じっくりと取り組める!

「マイナビ学生就職モニター調査」とは、就職情報サイト「マイナビ※」にモニター登録している学生対象の調査です。
※「マイナビ」は、約8000社以上の企業情報を掲載し、70万人以上の学生が利用する国内最大規模の就職情報サイト(2012実績)

「学修の記録」を活用することにより準備ができ、チャンスが広がる。